

# きんもくせい

平成28年 学校教育だより

May 5 第329号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会  
発行・埼玉県富士見市教育委員会  
電話・049-251-2711 (内線622)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



第41期 生徒会による「朝のあいさつ運動」

写真提供／富士見東中学校

## 顔

水谷中学校 三年

秋元 紅音

心は笑う  
 心は泣く  
 心は怒る  
 心は叫ぶ  
 心は目には見えない  
 だれの目にも見えない  
 みえないけれど  
 自分の顔が笑っていても心は  
 泣いているときがある  
 心の顔があるんだ  
 一人一人ちがう顔

単元を貫く言語活動を取り入れて

本校では、二十六・二十七年度の二年にわたり、国語科の研究に取り組みました。文章を読んで答えることに苦手意識をもつ児童が多いという実態を受け、確かな読解力をもとに、「想像力豊かに自分の思いや考えを主体的にもてる児童の育成」を主題として研究しました。確かな読解力を付けるため、「想像力」と「主体的に」という二つのポイントを主題に入れました。「想像力」とは、想像を広げながら読む能力であり、「主体的に」とは、児童自身が自分の力を使っている力を使って活動するという事です。つまり、興味・関心をもち、自らの疑問から課題を見つけ、課題解決のために既習事項を生かして考えていくことです。興味・関心や疑問は、児童の思いが強くなっては、生まれてきません。そこで、そのために、単元を貫く言語活動を学習過程に位置付けました。

児童に付けさせたい力の明確化

本校では授業づくりワークシートを作成し、単元で付けたい力(指導事項)を明記しました。そうすることで、授業者は付けさせたい力を常に意識して授業をすることができました。児童に付けたい力を児童自身が分かっていることもまた、重要です。児童がどうしてこの活動をするのか曖昧なまま授業をしては、「主体的」ではなくなってしまつてしまいます。単元を始める前に、この単元では何を学び、どんな力を付けるのかということを教師・児童が共に理解し、同じ方向に向かって授業を進めること

鶴瀬小学校 教諭 小椋 亜沙子

想像力豊かに自分の思いや考えを主体的にもてる児童の育成

わかる授業 = 小学校 国語 =

学習過程の工夫

導入では、付けたい力が付くと、「こんなことができるようになるぞ」というゴールをしっかりと見せます。そうすることによって、「いいな」「やってみよう」と引き出します。幼稚園との交流会では、年長さんに昔話のよさが伝わる劇をしようという目的を設定し、意欲を高めました。習得では、一貫した言語活動を使って学習を進めます。今回は、一人一つの指人形セットを用意しました。児童自らが色塗りをした背景を使って、指人形を動かしながら登

「仲間と共に」

つるせ台小学校 教諭 飯島 玲子

特別支援教育

「ひまわり学級」は、四月に五人の新しい仲間を迎え、十三人の児童で元気に学んでいます。個別の学習も大切にしていますが、異年齢集団という特徴も生かしながら友だちと関わり合う学習も大切にしていきます。校外学習など体験的な学習でグループを組むときは、高学年をリーダーとしてグループを組みました。リー

諏訪小学校 6年 上高 溪花



言語活動の精選

「主体的」な姿が見られませんでした。言語活動には、様々なものがあります。初めは、どれが効果的なのか迷つてしまうこともありました。しかし、「付けたい力は何か」ということに戻ると、児童の実態に合った言語活動が選べるようになりました。私は、「たぬきの糸車」で授業を行いました。付けたい力を「登場人物の行動を中心に想像を広げ、話を読むこと」にしました。児童自身が登場人物の行動をもとにして気持ちを

すわっ子合唱部

昨年からつくられた合唱部ですが、私は2年間入り続けています。今年は、最高学年として、合唱部のみんなを引っ張っていけるような、6年生になりたいです。



想像しやすくするためにはどんな言語活動が適しているのか、考えました。低学年であるという実態を考慮し、指人形劇を言語活動として取り入れました。「登場人物の行動が分かっているから、指人形を動かせる」「指人形を動かすことで行動が視覚化されて、気持ちを想像しやすくなる」「状況をしっかりとらえ、場面を想像することで、読みの世界を広げていける」というように、児童の思考や行動の流れをよく考えていくと、どの言語活動を取り入れるべきかが見えてきました。もちろん、どの言語活動が



児童が考えたセリフも交え、オリジナルの物語を発表しました。「できるようになったこと」を明確にするために、共に勉強した仲間同士で、年長さんに伝わるかという目的に沿った観点で評価し合いました。互いにアドバイスをすることもできました。



掲示・並行読書の活用

確かな読解力を付けるために「読む量」を確保することも必要だと考えました。しかし、児童に本を読みなさいと言っただけでは読書量の確保は難しいところがあります。そこで一つ目に、学年の掲示板を利用し、「先生たちのおすすめの本」を掲示しました。本の表紙とすすめる本の紹介文を掲示して、児童が本に興味をもてるようにしました。二つ目に、学年の廊下に簡易的な本棚を設置し、いつでも本を読むことができる環境をつくりました。本棚には、その時学習している単元の内容に関係する本を中心に置きました。

と学年末とでは、児童の変容が見られました。例えば、絵や写真の多い本ばかりを好んで読んでいた児童が、より文字の多い本を読むようになりました。掲示や環境づくりによって児童の興味を引き出し行動につなげることができるということを実感しました。

終わりに

私自身、「確かな読解力を付けるためには」、「主体的に学ばせるには」ということについて、まだまだ学んでいかなければなりません。今回研究したことをもとに、新たな手法や手立てを考え、実践を積み重ねていきたいと考えます。児童の充実した学習のために、日々努力していきます。

指導・講評 鶴瀬小学校長 山崎 美晴

一年生の児童が幼稚園児に「たぬきの糸車」の指人形劇を楽しそうに、そして動かし方を工夫して発表していました。この授業実践において、①学ばせたいことを明確にしたこと②目的をもった言語活動を設定したこと③本に親しむ環境づくりをしたことが児童の主体的な活動や確かな読み取りに結びついたと考えます。本実践をもとに「わかる授業」の更なる研究と実践を期待しています。

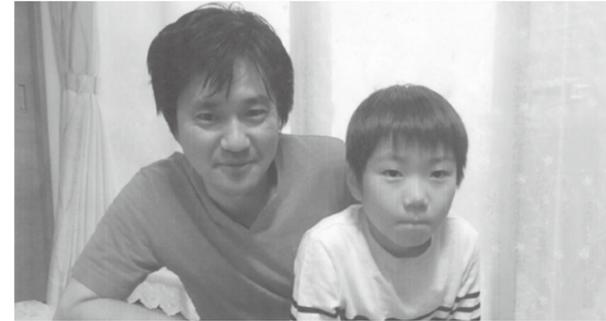
### 子供の振り見て我が振り直せ

つるせ台小学校 保護者 西尾 徹

我が家には新学期から小四になった息子がいるのですが、どうにも忘れっぽいところが親としては悩みのタネです。その日使う大事なものを忘れたり、学校からの手紙や課題と思われるプリント類がぐしゃぐしゃになった状態でランドセルの中から発見されることも当たり前です。

全くどうしたものかと思いつながら、同時に感じる一抹の既視感を覚える私であるが、何てことは無い、それは子ども時代の自分そのものなのだ。嗚呼これも遺伝子のなせる技なのか、そしてその傾向は大人になった今の自分にもしっかりと残っているものであり、まるで神様が息子を通して自分の欠点を教えてくれている様である。本当にいやというほどに。

連絡事項をきちんと伝えるとか、期限までにやるべきことをやるとか、大人になって生きていく上で社会から要求される基本的なことであり、このままではマズいと思う親としては当然いけないよと注



育てを乗り切る、大きな原動力となっているように思いますが。

息子の活躍も楽しみではありますが、息子のチームが段々と、時には飛躍的に成長する姿を見ると、子どもの可能性ってとてつもないなあ、と感動すら覚えます。

顧問の先生やチームメイトにも恵まれ、息子は精神的にも大きく成長しました。バスケットを通じて子どもとの関わりをたくさんもてたことは、難しいと言われるこの時期の子



育てを乗り切る、大きな原動力となっているように思いますが。



### 「朝遊びでハッスル♪マッスル！」

勝瀬小学校

勝瀬小学校の運動場に朝から元気な声が響き渡ります。勝瀬小学校では『早寝・早起き・朝ごはん・朝運動』を合言葉に、朝遊びを推奨しています。

勝瀬小学校では、朝運動を活性化させるために、勝瀬小学校の遊具を利用したアスレチックコース『カスケ』に取り組んでいます。



手に持って、学校にある遊具を周ります。そこで、学年ごとの課題に向っておもいっきりチャレンジします。

すべての遊具の課題をクリアできたら、見事！カスケパーフェクト賞の受賞です。



### 「チームチャレンジ」

富士見台中学校

新年度、最初の学校行事である「チームチャレンジ」とは、新しいクラスの団結や学年を越えた人間関係づくりを目的として、三分間×二回の「長縄」の合計回数を競うというものです。教員は一切口を出さずに、先輩が自らの経験を生かし後輩にアドバイスをを行います。

今年さらには、体育祭の団決を先に行い、色別に縦割りとなってアドバイスが行われ、体育祭に向けた取り組みも同時にスタートしました。

当日は、各団三年生の体育委員が中心となり、三十分間の練習もあつという間に感じるほど緊張感あふれる中でスタートしました。さすが三年生は圧倒的な記録で後輩たちを魅了、二年生は昨年の経験を生かし、互いに声を掛け合



懸命を出しながら、中学校初めての「行事」を全身で味わっていました。

### バスケットボールを通じて

富士見台中学校 保護者 浦 ひろみ

我が家には、高三、中三、小四の三人の子がおります。共働きで、私自身もフルタイム勤務ということもあり、これまでの子育てに関しては、かなり手抜き……もとい、保育園や学童、ご近所さんやパパママ友など、たくさんの方に助けてもらいながら、なんとかやって来られたというのが正直な感想です。

さて、中学生にもなると親と関わる時間だけでなく口数

も減り、次第に反抗的になるなど、とても難しいお年頃です。子どもは、三歳までにその可愛さで一生分の親孝行をするそうです。そうか、もう親孝行は終了しているのか……その思い出を、ご褒美として、この反抗期を乗り越えるのか……と思っていた矢先、来ましてご褒美第二弾！

それは、長男が中学から始めたバスケットボール部の試合観戦です。公式戦はもちろ

### 教育課題特集

# はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

# 生きる力を

### 悩みが大きくなる前に相談してください

西中学校ふれあい相談員 松葉 恵里子

さわやか相談室には、放課後や昼休みになると「松葉さん聞いて！」「話したいことがあるんだけど」と明るく入ってくる生徒や、そばに来て何も言えない生徒など、いろいろな生徒達が来室して来ます。

相談内容は友人の事、部活の事、勉強の事、家庭の事……話を聞くたび思春期という大変な時代をそれぞれ一生懸命生きているんだなと感じます。

大人にとっては些細な出来事でも、子どもたちにとっては傷ついたり落ち込んだりしてしまう大変な悩み事になったりします。

### 開室時間

九時から一六時二〇分  
※時間は各中学校に確認願います。

相談室の活動はうまくいくことばかりではありません。本人を取り巻く環境を変えることや、本人が語ろうとしな

い心の悩みを聞きだすことは簡単ではありません。自分の力不足を感じたこともたくさんありました。しかし「相談員さんがいたから救われた。」「相談室は憩いの場だった。」「これからは私たちがみな子を救ってください。」と言ってくれた生徒もいます。

定期的な小学校訪問をしたり、必要に応じて家庭訪問も行っています。

・専門的な知識を持った、スクールカウンセラーによる相談も受け付けています。

お子様の様子がちょっと変だな、元気がないな等、気になることがありましたら、悩みが大きくなる前にお気軽に相談してください。

富士見市の各中学校のさわやか相談室でお待ちしております。



針ヶ谷小

一日のスタートは元気なあいさつから！  
「気持ちのよいあいさつをする」を重点目標に、児童会役員と輪番で各クラスが正門であいさつ運動を行っています。あいさつのあふれる針ヶ谷小を目指します。



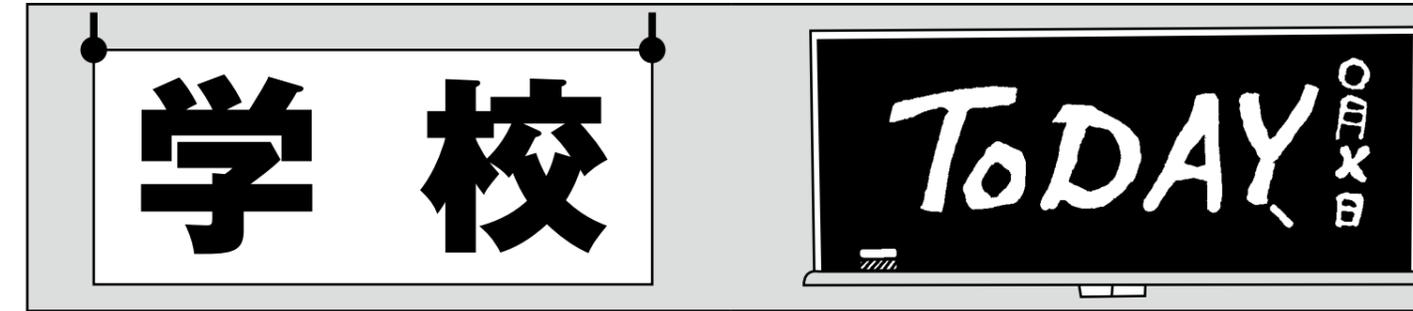
水谷東小

アートしよう！大型絵画「わたしの心の東小」  
昨年度の6年生が、10メートル四方の「大型絵画」を描きました。特別講師をお招きして行う、図画工作の特別授業の作品です。講師のお二人が脚興で描いた木の幹と枝に、筆やはけ、時には手足を使って、6年生57名が、思い思いの心の花を咲かせました！



みずほ台小

ようこそみずほ台小へ～1年生をむかえる会  
4月15日、1年生をむかえる会を行いました。歌やよびかけで1年生を歓迎しました。  
これからたくさん遊んで仲良くなりましょうね。



関沢小

あいさつでつなぐたすきリレー  
本校では、児童が校門に立って、あいさつ運動を行います。心と心をつなぐ元気なあいさつで、笑顔がたくさんあふれています。



西中

中学校の勉強は…。  
小学校のこれまでの授業とは一変し、中学校は教科担任制となります。たくさんの先生方との関わりの中で、様々なことを学んでほしいと思います。



諏訪小

元気に「おはようございます！」  
朝、正門前で「あいさつ運動」に取り組んでいます。登校してくる友達に「おはよう！」「おはようございます！」と、気持ちの良いあいさつの声がたくさん響いています。

校庭の花々が色鮮やかに咲き、木々の緑が明るい日差しに輝く春。平成二十八年度がスタートしました。新進学や進級をした子どもたち。新たな自分の目標を決めて、進んで取り組もうとしたり、下級生の手本となるよう努力をしたりする姿が、たくさん見られ嬉しく思います。  
この学校TODAYでは、富士見市の小学校・中学校の特色ある活動の様子を紹介します。生き生きと活躍する子どもたちの姿を、是非ご覧下さい。



東中

新入生への在校生歓迎合唱「語り合おう」  
東中の入学式では在校生が新入生にむけて歓迎の合唱曲を歌います。今年度は90名の新入生が新たに加わりました。在校生はお互いの手をつなぎ、表情豊かな合唱で90名の新たな東中生を迎えました。



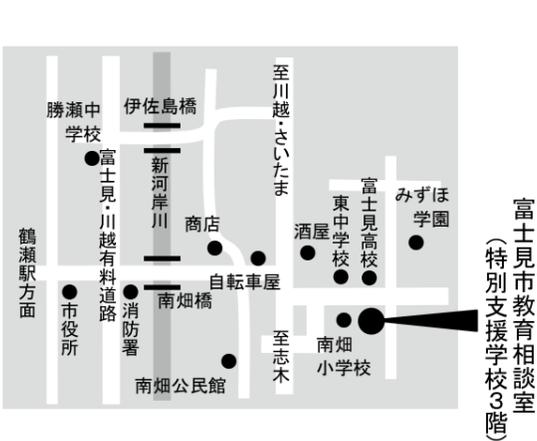
勝瀬中

WE ARE ALL ONE！勝中はひとつ！  
3年生を送る会は勝瀬中三大行事の1つです。学年ごとに出しものなどをおこない、3年生の卒業を盛大にお祝いました。



勝瀬小

102名の仲間が加わりました。  
4月14日、「1年生をむかえる会」が行われました。6年生に手を引かれ、手づくりのメダルをかけてもらい、笑顔で入場しました。2～6年生のお祝いの発表を見て、満足して退場していきました。



II 市教育相談室より II  
『教育相談Q&A』  
Q 「あすなる」ってどんな教室？  
A 「あすなる」とは、富士見教育相談室（富士見特別支援学校三階）に設置されている適応指導教室の名称です。この教室では、学校に行きたいけれど行けない市内の市立小・中学校に在籍する児童生徒の自立と学校復帰を支援しています。  
「あすなる」は、午前九時から午後二時半まで開室していますから、そのお子さんの状態に応じて自由に利用することが出来ます。等身大のありのままで過ごせる居場所です。  
「あすなる」では、一人一人の児童生徒の状態に合った通い方や過ごし方を本人の意思を尊重し、保護者の方ともじっくりと時間をかけて一緒に考えていきます。  
また、「あすなる」では、様々な体験活動も行っています。  
△開室期間と主な体験活動▽  
一学期 四月八日から七月十日  
始業式、花の苗植え、難波田城公園内古民家での体験活動、宿泊体験活動、学校給食センターでの昼食会、終業式等  
二学期 八月二十五日から十二月十一日  
始業式、遠足、おにぎりパーティー、クリスマスパーティー、終業式等  
三学期 一月八日から三月四日  
始業式、避難訓練、感謝の集い、通室証書授与式等  
以上のような体験活動の他、お子さんの状態や気持ちを十分に配慮しながら徐々に学校復帰に向けた様々な取組を行っています。  
通室を希望する方は、担任の先生に申し出ていただくか、本室まで直接ご連絡ください。

# 教育委員会だより

## 《平成28年度富士見市教育行政方針》

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
  - 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
  - 2 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成
  - 3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
  - 4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進
- II 学びあう地域社会をめざす教育の推進
  - 1 家庭・地域の教育力の向上
  - 2 生涯にわたる学習機会の提供と学びのネットワークの推進
  - 3 学びあう地域社会を創る活動の推進
  - 4 市民の暮らしとまちづくりに役立つ読書活動の推進
  - 5 郷土遺産の継承と文化芸術の振興
  - 6 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進
- III 組織の総合力を生かした教育の推進

平成28年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせします。今年度も富士見市の教育理念「人間尊重」の教育を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。よろしくお願いたします。

- 《編集委員長》 森 田 恵 (水谷東小学校校長)
- 《編集副委員長》 猪 口 茂 (針ヶ谷小学校教頭)
- 《編集委員》 福 井 智 子 (勝瀬中学校教諭)
- 富 田 香 織 (勝瀬小学校教諭)
- 濱 野 裕 司 (水谷小学校教諭)
- 高 橋 圭 輔 (富士見台中学校教諭)
- 鈴 木 洋 (南畑小学校教諭)

## 平成28年度 富士見市立小・中・特別支援学校 運動会・体育祭、音楽会の開催日等

学校名	運動会・体育祭	開始時刻	予備日	音楽会(合唱コン)
鶴瀬小学校	5月28日(土)	8:55	5月31日(火)	11月5日(土)
水谷小学校	9月17日(土)	8:45	9月21日(水)	10月29日(土)
南畑小学校	9月17日(土)	8:55	9月20日(火)	11月11日(金)
関沢小学校	9月24日(土)	8:35	9月25日(日)	11月11日(金)
勝瀬小学校	5月28日(土)	8:40	5月31日(火)	11月4日(金)
水谷東小学校	9月17日(土)	9:00	9月18日(日)	11月5日(土)
諏訪小学校	5月28日(土)	8:50	5月29日(日)	11月5日(土)
みずほ台小学校	9月17日(土)	8:50	9月18日(日)	11月2日(水)
針ヶ谷小学校	5月21日(土)	9:00	5月24日(火)	11月5日(土)
ふじみ野小学校	5月28日(土)	8:40	5月29日(日)	11月5日(土)
つるせ台小学校	5月21日(土)	9:00	5月22日(日)	11月4日(金)
富士見台中学校	5月14日(土)	8:55	5月19日(木)	10月31日(月)
本郷中学校	5月21日(土)	9:00	5月24日(火)	11月1日(火)
東中学校	5月21日(土)	8:50	5月25日(水)	10月28日(金)
西中学校	5月28日(土)	8:50	5月31日(火)	10月26日(水)
勝瀬中学校	5月21日(土)	8:45	5月24日(火)	10月27日(木)
水谷中学校	9月10日(土)	9:00	9月13日(火)	11月4日(金)
富士見特別支援学校	5月21日(土)	10:00	5月22日(日)	11月9日(土)学習発表会



## クラスの横顔

一年前の四月の入学式、とてもめずらしい雪の降る入学式になりました。一年二組の担任として、初めて子どもたちと出会いました。思い起こせば二十数年前、私が小学校

に入学した日も雪が降りました。雪という共通点から、子どもたちとの「縁」を感じたのを昨日のように覚えていきます。入学して一学期が終わわり、学校生活にも慣れてきました。

### 最高だった

みずほ台小学校

教諭 牛頭 朋之



学級活動ではクラス全員で遊ぶ活動をとり入れていました。教室でフルーツバスケットをしたりしました。

後まで座れた子だけが楽しい思いをするものになってしまいうので、「全員座ることを条件に段々イスを減らしていき、何個のイスで全員座れるか」というゲームにしました。

一つ二つと減らしていくと子どもたちは自然と友達をひざの上に座らせたり、背もたれの部分に座ったりと工夫をし、最後には二十九人の子どもたちが八個のイスで座れました。

新しい出会いとともに、平成二十八年度が始まった。子どもたちは新たな決意をもって、新学期をスタートしたことだろう。「今年はこのことに挑戦しよう」「こんなことができるようになりたい」と、子どもたちの瞳は、希望で輝いている。その新学期が始まって一ヵ月ほど経った。新しい生活に慣れてくるとともに、緊張してきたための疲れが出る頃でもある。そのような時に子どもたちを支える家庭の役割は大きい。家庭の「庭」は、「心の庭」である。心の庭は子どもたちに安らぎと潤いを与え、疲れを癒し、明日への活力をつける。

## 編集日記

三歳までは肌を離さない七歳までは手を離さない十三歳までは目を離さない十九歳までは心を離さないある講演会で聞いた言葉である。子どもは成長段階により、行動や学習の仕方が変わる。甘えたり反抗したりしながら、自立に向けて成長していくのである。子どもの成長にとって、環境が大きな影響を与える。その環境づくりは大人の責務である。生涯にわたる学びを通して豊かな心を育み、交流の輪を広げ、多様な個性を生かして力を発揮していく教育を推進するため、「心の庭」という土壌づくりを学校・家庭・地域でつくっていききたい。(森田)